

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	空間構造設計規準調査小委員会	主 査 名：大森博司 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：社団法人韓国空間構造学会附設研究所より、調査研究の委嘱「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成」を日本建築学会が受けた。このための活動をこの小委員会を中心となっていく。 ・ 活動：第一回会議：2010 年 6 月 5 日、東大生研にて会議を行い ETFE フィルムパネル設計・施工指針(案)の資料に基づき報告が行われた。第二回・第三回会議：11 月 10 日、IASS 上海会議場にて検討会を催すとともに、11 月 27 日、韓国、ソウル、KASS 会議室にて、ETFE についての資料のまとめ方について検討を行なった。これは本プロジェクトの最終回になる。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 大森博司(名古屋大学)、大崎純(広島大学)、川口健一(東京大学)、河端昌也(横浜国立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及び韓国にてそれぞれ 1 回、中国・上海にて 1 回委員会を開き、ETFE 膜構造関連の情報交換を行うとともに、成果物として報告書を提出した。 2. 国内に於ける展開構造物の構造設計規準の調査を行った。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 国際的な小委員会であるので各委員の委員会招集に向けての日程調整に時間を使うことが多い点が課題である。